

マックスフォース マグナム クロゴキブリに対する任意摂食室内試験

前処理 試験容器（1㎡、ブリキ製）にチャバネゴキブリ雌雄成虫（各5頭、合計10頭）を1昼夜以上放置した。

1 試験

検体（マックスフォース マグナムを注入した誤食防止容器）を配置し、LT₅₀、LT₉₀、マックスフォース マグナムの喫食率を求めた。LT₅₀、LT₉₀：それぞれ半数致死又は90%致死に至るまでの日数を示す。

2 結果

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、半数致死時間（LT₅₀）及び90%致死時間（LT₉₀）に関して有意に優れていた。マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べて高い喫食率を示した。

供試薬剤	雌雄各数 (合計供試虫数)	配置量 (g/㎡)	LT ₅₀ (日)	LT ₉₀ (日)	平均喫食率 (%)
マックスフォース マグナム	各5頭 合計10頭	0.4g (容器入り)	1.68	6.13	30.2
対照薬剤M	各5頭 合計10頭	0.3g (容器入り)	3.09	14.6	22.8

2 結果

マックスフォース マグナムは優れた喫食性と、確実な致死効果（90%致死時間）を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

試験機関 (財) 日本環境衛生センター